

第1の柱 「反射炉世界遺産認定に向けたおもてなし体制の整備」

本年6月ごろには、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の構成資産として、葦山反射炉の世界文化遺産への登録可否が決定します。

登録に向け、反射炉の管理保全を第一としながら、ハード整備、ソフト整備を進め、来訪客へのおもてなしを充実します。

■ 反射炉ガイダンス施設や駐車場、江川邸と反射炉周辺の看板整備 542,538 千円

葦山反射炉の歴史的価値や近代製鉄に果たした役割について、来訪者の理解を深めるため、ガイダンス施設を整備します。あわせて、訪問客の増加に対応するための駐車場整備や、周遊性を高めるための施設整備を行います。

■ 世界遺産ビューポイントの整備【新規】 10,000 千円

葦山反射炉の魅力をさらに高めるため、反射炉と富士山とを一望できるビューポイントを整備します。

■ 反射炉シャトルバスの運行【新規】 3,364 千円

来訪者の利便性を高めるため、伊豆長岡駅、葦山反射炉、江川邸、葦山駅をつなぐ循環型シャトルバスを運行します。

■ 歴史ガイドボランティアの充実【拡充】 3,736 千円

今後ますます増加が見込まれる観光客に対し、葦山反射炉などの歴史資産を丁寧に説明するために、歴史ガイドの充実を図ります。

■ 伊豆長岡駅前観光案内所の整備【新規】 13,792 千円

鉄道を利用して訪れる観光客への対応を充実するため、伊豆長岡駅前に観光案内所を整備します。



私は、新年度予算を「新たな誇りと元気」創造予算と位置づけました。

市民の皆様が、葦山反射炉をはじめとする本物の歴史と文化を有する地域に暮らす誇りを新たにし、人も街も元気な伊豆の国市づくりを目指します。市制施行11年目に踏み出す、その歩みを支えるための予算。それらを具現化していくための骨格となる三つの柱を掲げました。

平成27年度市長施政方針は、財務課窓口、または市ホームページで閲覧できます。

市役所財務課
☎ 055(948)1414



平成27年度当初予算主要事業の紹介 「新たな誇りと元気」創造予算

第3の柱

「7つの命題の着実な実現」

市長就任時の所信表明で述べさせていただいた「7つの命題」は、市政運営の原点であり、この命題に常に向き合い、まちづくりに取り組んでいきます。

1 安心・安全の暮らしを実現

- 通学路等の整備【拡充】 65,000 千円
- 伊豆市とともに新ごみ処理施設整備に向けた取り組み 52,117 千円

2 農業・観光・産業経済・雇用対策の強化と充実

- 6次産業化の推進【拡充】 2,450 千円
- 歴史文化資源活用イベントの開催【新規】 19,500 千円



3 子育て支援・少子化対策・女性の就業支援

- 育児応援モバイルサイトの開設【新規】 1,225 千円
- 放課後児童教室の受入拡大【拡充】
(学童保育費関連予算) 86,750 千円

4 教育・人づくり・スポーツ振興と文化のまちづくり

- 小中学校遊具等の整備【新規】 19,400 千円
- 古奈地区公園（あやめ御前広場）の整備【新規】 4,500 千円

5 防災対策基盤の整備

- 地区公民館耐震促進整備補助金の創設【新規】
長塚区公民館整備補助 15,600 千円
- プロジェクトT O U K A I - O 16,011 千円

6 地域連携の医療・介護・福祉

- 生活困窮者に対する自立相談等の実施【新規】 19,374 千円
- 地区敬老会開催支援、喜寿・米寿の人への長寿お祝いの配布など【拡充】 18,253 千円



7 行財政改革

- 市民提案型パートナーシップ事業の推進【拡充】 1,286 千円
- 高齢者温泉施設における入浴利用の有料化および無料券の配布

第2の柱

「将来を見据えた新しい取り組み」

市制 11 年目に踏み出す伊豆の国市のさらなる飛躍を目指し、新しい市政に対するフレームの構築、地方創生人口減少対策への取り組み、保健福祉相談体制の強化といった将来を見据えた新たな取り組みを進めていきます。

■ 公共施設等総合管理計画等の策定

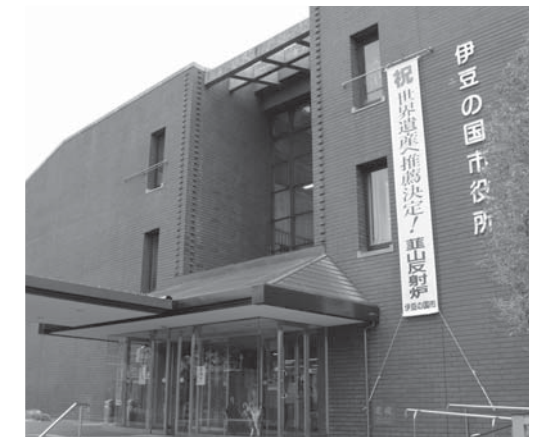
12,000 千円

公共施設の全体像を明らかにし、将来の伊豆の国市の規模に見合う施設を効率的に配置できるよう、複合化や統廃合などを検討していきます。

■ 新庁舎建設基礎調査の実施【新規】

6,000 千円

既存庁舎の耐震化、老朽化への課題を整理するとともに、効率的な行政サービスを目指し、庁舎機能の集約を検討していきます。



■ 若年世帯定住促進補助金の創設【新規】

7,300 千円

若年世帯の転入増加を誘引するため、県外からの若年世帯定住者への住宅取得に対し支援します。



■ 保健福祉・こども・子育て相談センターの設置【新規】（相談センター費関連予算）68,801 千円

保健福祉・こども・子育てに関するさまざまな相談に対し、窓口を一本化し、世帯単位、家庭単位で迅速かつ効果的な支援を行うため、福祉事務所に新たに開設します。



■特別会計ほか予算額■

■特別会計■ 135 億 5, 810 万円

国民健康保険	74 億 5,000 万円
後期高齢者医療	4 億 7,700 万円
介護保険	36 億 5,500 万円
楠木及び天野揚水場管理	1,630 万円
簡易水道等事業	1 億 1,380 万円
下水道事業	18 億 4,600 万円

■上水道事業会計■ 10 億 2, 200 万円

■基金の状況■ 50 億 3, 689 万円

基金名	平成 27 年度末 残高見込額
財政調整基金	32 億 2,520 万円
減債基金	11 億 822 万円
土地取得基金	1 億 3,047 万円
福祉対策基金	7,101 万円
教育振興基金	2,193 万円
ふるさと水と土基金	2,600 万円
温泉保護対策基金	6,009 万円
収入印紙等購入基金	600 万円
緊急地震対策基金	2,097 万円
廃棄物処理施設地域振興基金	2,003 万円
環境基金	120 万円
国民健康保険 保険給付等支払準備基金	7,459 万円
国民健康保険 高額医療費資金貸付基金	900 万円
介護給付費準備基金	2 億 2,718 万円
楠木及び天野揚水場 管理基金	3,500 万円

■市債の状況■ 244 億 2, 932 万円

会計名	平成 27 年度末 残高見込額
一般会計	190 億 3,158 万円
簡易水道等事業特別会計	2 億 262 万円
下水道事業特別会計	42 億 5,620 万円
上水道事業会計	9 億 3,892 万円

(このうち 50 ～ 60%は今後、普通交付税として算入される見込みです。)

～ 平成27年度 当初予算の概要 ～

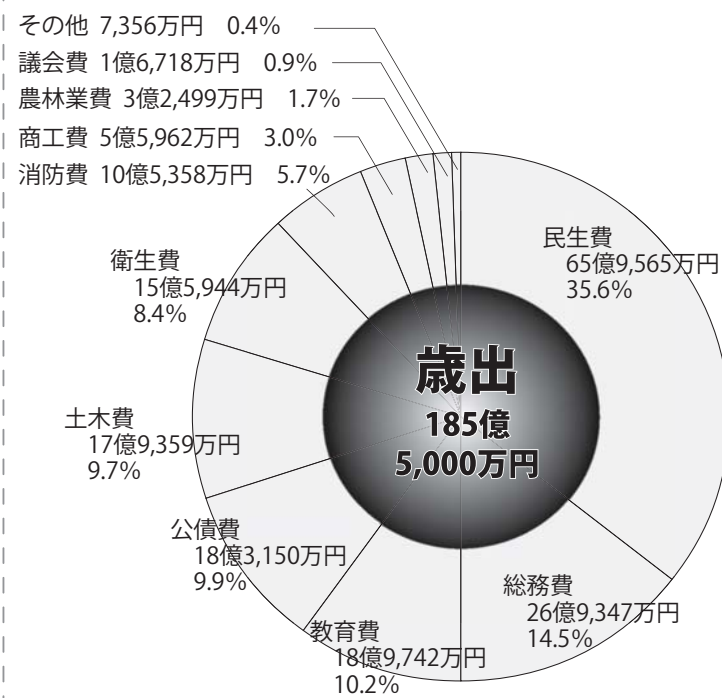
『新たな誇りと元気』創造予算

過去
最高

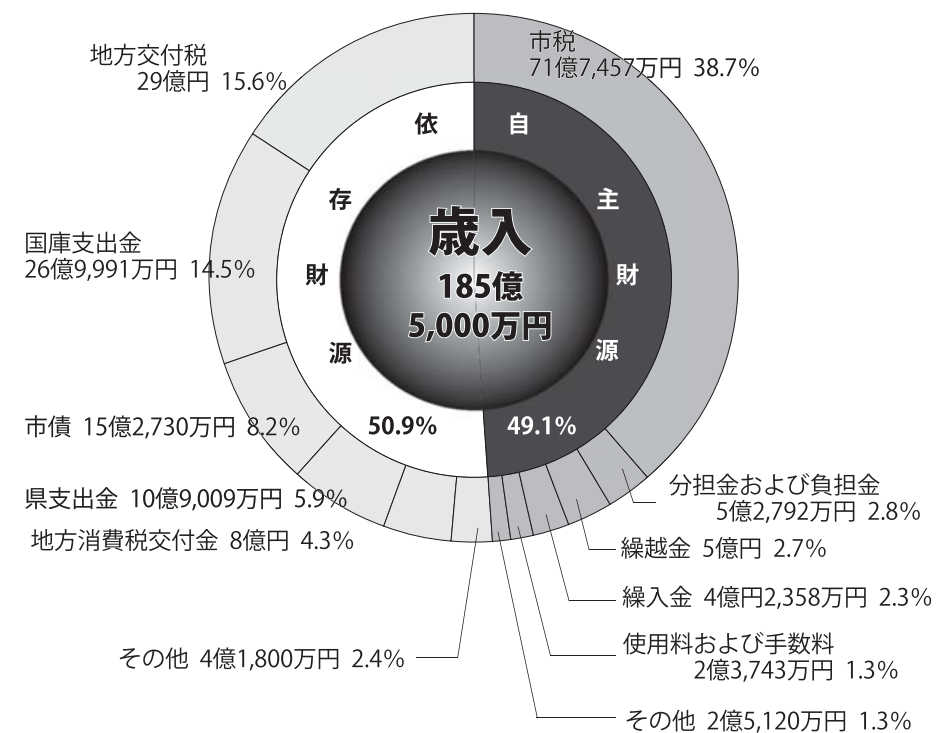
一般会計

185億5千万円

歳出
1年間に使うお金



歳入
1年間に入るお金



市民一人あたりの予算
37万1,528 円

私たち 4 人家族では
148 万 6,112 円

民生費
132,101円

総務費
53,946円

教育費
38,002円

公債費
36,682円

衛生費
31,233円

土木費
35,923円

消防費
21,102円

商工費
11,209円

農林業費
6,509円

議会費
3,348円

その他
1,473円

※平成 26 年 10 月 1 日現在の住民基本台帳人口 (49,929 人) で算出

◆ 平成 27 年度当初予算説明会のご案内



市では、市長や職員が、税金の使われ方、今年度の市の事業などを市民の皆さんにわかりやすく説明し、市政の現状や主要施策などを理解していただく予算説明会を開催します。

この説明会は、市民の皆さんと情報の共有を図り、市民協働によるまちづくりをさらに進めるために行うものです。申込は不要です。ぜひ、ご参加ください。

と き 4 月 26 日 (日) 13 : 30 ～ 15 : 00

ところ あやめ会館 多目的ホール

内 容 市長の施政方針、主要事業・重点事業について